

2022年度 事業計画

NPO 法人小児がん・まごころ機構

事業実施の方針

令和4年度も、NPO 設立当初から続けてきた日本における永続的な小児がん長期フォローアップの仕組みの確立に向けた事業を引き続き実施。

また、継続して、アジア小児血液・がん治療研究グループ (APHOG) の活動及び事務局機能の支援を行う。そして、その中で、アジアにおける小児がん長期フォローアップを支援する活動を進める。さらに、WHO 及び SIOP/SIOP-Asia と密に連携し、世界的なコロナ禍やウクライナ・ロシア戦争などによって困難になっている「WHO(世界保健機関)グローバル・イニシャティブ」(2030年までに、世界の小児がんの治療率を60%以上に上げる。2018年発表。)を推進するため、国内外における啓発・広報活動を行う。

具体的実施事業について

1. 【日本国内事業】

WHO GICC の国内における啓発活動及び永続的な小児がん長期フォローアップの仕組みの確立に向けての取り組みを行う。

(1) WHO GICC の日本国内での啓発・広報活動

- ・2022年9月25日(日) 国内における WHO GICC 啓発イベント(Global Gold September Campaign)
主催：NPO 法人小児がん・まごころ機構
共催：APHOG と SIOP Asia
(国立がん研究センター) (SIOP の協力で海外へも発信)
- ・2023年2月12日(日) ICCD 国際小児がんデー・イベント
主催：NPO 法人小児がん・まごころ機構
(ホテルニューオータニ佐賀)
- ・その他、中学生を対象にしたオンライン授業、講演会、がんサロン等

(2) 日本における永続的な小児がん長期フォローアップの仕組みの確立に向けた事業を引き続き実施

- ・小児がん経験者向けアプリ「follow up」追加機能開発
- ・小児がん経験者事例集作成

(3) MOCC. APHOG ホームページのリニューアル

2. 【日本国内を含むアジア事業】

APHOG の事務局機能を担いその活動に対する支援を行うと共に、WHO GICC の啓発・広報を進めるための活動を行う。

(1) APHOG の体制確立とその活動に対する支援事業 (実質的な事務局機能を担う)

- ・ APHOG Executive Council, Advisory Board ウェブ会議の支援（年間 10 回～12 回程度）
- ・ APHOG 各種委員会のウェブ会議支援
- ・ APHOG 2022 国際オンライン会議（年 6 回～8 回）、HP、News Letter 発行（年 1～2 回）
- ・ 10 月 SIOP 2022 in Barcelona での、APHOG 及び SIOP, WHO との合同ミーティングの支援
- ・ 7 月 31 日（日） “1st APHOG 2022 Annual Meeting”（SIOP Asia 2022 最終日 13:30-17:30）
 - Session-1 “APHOG therapeutic strategy for hematological malignancies in Asia”
 - Session-2 “APHOG challenge against solid tumors in Asia”
- ・ 12 月 3 日（土） “APHOG Global Seminar 2022”, Theme: “Osteosarcoma「骨肉腫」”
 - 主催：APHOG 共催：NPO 法人小児がん・まごころ機構
 - *初開催（グローバル配信の予定）

(2) WHO GICC のアジアでの啓発・広報活動

- ・ 2022 年 10 月上旬 “APHOG/SIOP-Asia/WHO Joint Meeting”（オンライン）
 - 主催：APHOG, SIOP, WHO & St. Jude Global
 - 共催：NPO 法人小児がん・まごころ機構
 - SIOP GoToMeeting platform を使用（SIOP の好意による。）
- ・ APHOG ホームページでの広報

3. 【募金活動】

- ・ 企業、団体、個人
- ・ ふるさと納税（NPO 等の支援）、クラウドファンディング

*令和 3 年度事業計画の国内外の小児がん創薬・臨床研究助成事業においては、令和 4 年度に十分な寄付が集まった場合、次年度から実施することを検討する。